

協力隊のタメになる話 立川中学校ふるさと学習



7月12日、地域おこし協力隊の4人が立川中学校の1年生に対し授業を行いました。この授業は「立川を知る」をテーマとする「ふるさと学習」の一環として行われ、生徒達は、協力隊から見た町の魅力や隊員たちの活動状況など、真剣に話を聞いていました。

綺麗なお花にうっとり トルコギキョウフェスティバル



7月22日、庄内町第一種苗センターで、より多くの人に「庄内町の花」を親しんでもらおうと、トルコギキョウフェスティバルが初開催されました。イベントの目玉となるトルコギキョウの摘み取り体験は大盛況。その他マルシェやフラワーアレンジメント教室も行われ、花いっぱいの日となりました。

もしもに備えて 庄内町中継技能訓練



7月23日、立川複合拠点施設で庄内町中継技能訓練が行われました。火災時を想定したポンプ中継による消火訓練とし、各担当の基本動作などの習得を目的に行われ、この日は計25班から約130人が参加しました。放水開始・終了の伝令など、実践に即した方法で訓練を行いました。

夏の思い出になったかな？ わくわくエコ工作教室 in 風車村



7月30日、風車村でわくわくエコ工作教室が開催され、町内外から150人が参加しました。この日は子どもたちが大喜びの催しが盛りだくさん。工作系のブースや金魚すくい、働く車の試乗体験、さらにはカブト虫相撲大会などが行われ、たくさんの子どもたちを笑顔にしました。

しょうない写真館

町で行われた身近なイベントや活動をお届けします。なお、町HPの「しょうない写真館」7月で終了しました。今後町の話は主に公式Instagramでお知らせしていきます。ぜひご覧ください →
企画情報課情報発信係@0234-42-0157



友好を深めた2日間 庄内町・南三陸町小学生国内交流事業



8月2日～3日、友好町の南三陸町の小学生が来町し、本町の小学生と交流しました。4年ぶりの開催となったこの日は、両町合わせて51人が参加。児童たちはカート体験を楽しみ、清河八郎記念館、歓喜寺、清川関所などを巡り、2日間、交流と学習を深めました。

夜空に大輪の花が咲く 株マルハチ 打ち上げ花火



8月4日、株マルハチが、同社主催の夏祭りの一環として、茶屋町周辺で花火を打ち上げました。この事業は、コロナ禍で生じた閉塞感を打ち破ることを目的に企画。約20分間、色鮮やかな花火が多くの人の心を照らしました。

立川に新たな風が吹く 立川複合拠点施設オープン記念イベント&狩川まちづくりセンター風来風流フェスティバル

7月18日、立川複合拠点施設がオープンし、併せてオープン記念イベントが行われました。はじめに開館式が執り行われ、関係者や地域の小中学生が出席。その後はカフェコーナーや茶席などの他に、ホールではコンサートも行われ、多くの方が来館しました。

同月29日と30日には風来風流フェスティバルが開催。前夜祭の29日には立川音頭が復活し、昔を懐かしんだ人、新たに踊りを覚えた人が大きな輪を作りました。本イベントの30日には、子どもを対象とした水かけ祭りが大盛り上がりとなりました。

